

令和3年度学校評価の課題と改善に向けた具体的な取組等について

- 1 学校経営 学校と地域や保護者との互恵的な関係の中で学校教育目標が策定できるように情報の共有化を図り、協働的な取組を推進する。生徒、保護者とも入学して良かったと感じているが、教育方針に対する生徒の理解や生徒、保護者の満足度はやや低い。令和3年度に策定したスクールポリシーの周知を図り、それを軸にした教育活動を推進する。
- 2 学習指導 次年度1年生から実施される新学習指導要領の趣旨に即した到達目標を定め、授業計画、教育評価の実施を図る。また、BYODによる1人1台端末の導入に向けて、有効な活用方法についても準備を進めてきた。教員研修をすすめ、授業見学、研究授業、授業アンケート等による授業改善も継続して行う。
- 3 生徒指導 あらゆる場面で、相手を思いやり、良好な人間関係を築けるような指導を引き続き行う。特にホームルームにおける仲間づくりを重点的に進めていく。また、日常の丁寧な生徒観察やアンケート等により生徒の実態を把握し、いじめの未然防止・早期発見などに努める。
- 4 進路指導 個別面談や進路講演会などの取組により、生徒が高い志をもち、主体的な進路決定ができるよう支援する。本校の進路指導の方針や、入試制度改革について、研修会や保護者会、進路説明会等を通じて、生徒や保護者が理解を深めるようにする。
- 5 特別活動等 コロナ禍で制約が多い中ではあるが、感染対策に十分留意しながら、引き続き生徒の自主的な活動を全力で支援する。学習と班活動との両立が生徒の大きな課題になっているが、生徒自身が班活動や生徒会活動・ホームルーム活動と教科の学習を両立できるよう、時間の使い方の指導を行い、教育相談などでも支援していく。
- 6 学校図書館 生徒の読書時間が減少傾向にあるため、生徒が図書館に足を向け、読書習慣が定着するよう、図書通信の発行や特設コーナーの設置、ホームページでの情報発信などにより、啓発を続ける。生徒の集える場、居場所としての役割も果たせるよう工夫する。
- 7 保健・安全指導 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を引き続き徹底していく。防災訓練の実施が困難な状況であるが、防災への取組を充実させ、保健や安全、危機への意識を生徒・保護者と共有できるようにする。教育相談については、父母教師の会と連携し、スクールカウンセラーの利用や相談窓口の紹介など、生徒や保護者が相談できる体制をさらに構築する。
- 8 人権教育 3年間の体系的な人権教育計画に基づいた講演会や生徒の主体的な取組、アンケートによる実態把握等を通して、正しい理解に基づいた人権意識の一層の向上をめざす。
- 9 環境教育 環境美化を意識し、日常の校内清掃活動を充実するとともに、環境問題も含めたゴミ問題への意識も高めていく。
- 10 事務・管理 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための設備の充実を図ってきた。さらに安全安心な環境を整えるため、継続的な安全確認と、経年劣化している箇所等の整備を行う。
- 11 その他 ホームページのリニューアルを行った。これを機に、本校の教育活動を通じた生徒の生き生きとした姿が、積極的に校外に発信できるよう努める。また、Teamsや緊急メールなども活用し、緊急の連絡も含めた様々な情報を生徒・保護者に発信していく。今後、1人1台端末の活用も進める。